

環境みらい都市 事務局評定結果一覧（集計）表

整理番号	市町村名	アピール分野	評定値				加点	総得点	備考
			創意工夫	地域特性	地域連携	削減目標			
1	川越市	創意工夫	40	14	14	16	1	85	・太陽光発電の全小中学校への導入をはじめ、各方面への施策を講じている。 ・加点理由...「無理なく、抵抗なく、自然体で」をモットーに、H8からまず市が率先して行い市域へ広げるというスタンスで取り組んでいる実績は、今後の持続可能性が期待できる。
2	秩父市	地域特性 (地域連携)	16	40	16	14	0	86	・地域特性を活かし、バイオマスの徹底活用を目指している点が評価できる。今後の、民間企業や障がい者授産施設との連携も大いに期待したい。 ・地域における温室効果ガス削減の中期目標（2020年までに△25%）をエネルギービジョンの形で定めている。
3	所沢市	創意工夫	28	12	12	10	0	62	・施策の費用が抑えられているのはわかるが、効果の検証が難しい。計画の改定に期待したい。 ・市管理分のみ削減実績としては、H20年度にH16年度比△6.4%を達成している。
4	春日部市	地域特性	18	24	12	18	0	72	地中熱ヒートポンプの取組に期待したい。施策の評価尺度が優れている。 ・地域における温室効果ガス削減の中期目標（2020年までに△25%）を定めている。
5	戸田市	地域連携	16	14	36	12	1	79	・加点理由...「フェルトガーデン戸田」の商標登録や「フラワーセンター戸田」での精神障がい者等の雇用など、施策に創意工夫の跡がみられる。
6	北本市	削減目標	20	12	8	28	0	68	・環境省自主参加型国内排出量取引制度へ参加し、実効性を上げていこうという意欲が伺える。
7	三郷市	地域連携	14	10	40	10	0	74	・緑のカーテンという一つの取組を、まず市役所から始め、地域に押し広げていこうという戦略性がみてとれる。 ・市管理分のみ削減実績も対外的には見えない。緑のカーテンによる省エネ効果も、取組はよいが削減実績としては弱い。

※ 評定値は、評定項目ごとに「優れている」…5点、「普通」…3点、「劣る」…1点とする。

→ アピールポイントとしている分野（評定項目）の評定値は、集計時に2を乗じて補正した結果を記載している。

※ 持続可能性、費用対効果、波及効果など特筆すべき要素があれば、3点以内で加点している（加点欄に数値、備考欄に理由を明記）。